



## 遠藤副会長が「G7 群馬高崎デジタル・技術大臣会合ワーキングランチ」で意見陳述 — B7 東京サミット共同提言を世界に発信

4月29～30日、群馬県高崎市でG7群馬高崎デジタル・技術大臣会合が開催された。期間中の4月29日に開かれたワーキングランチには、市民社会や研究機関、女性、若者、世界経済フォーラム等の代表者が招かれ、G7各国閣僚等との意見交換が行われた。経団連からは遠藤信博副会長がB7を代表して出席し、B7東京サミット共同提言(22～34ページ参照)に基づき意見陳述を行った。

### 遠藤副会長の発言内容

Society 5.0 for SDGsを実現するうえで、データは重要な鍵を握る。その価値を最大限活かすためには、DFFT(Data Free Flow with Trust:信頼性のある自由なデータ流通)を具体化するべきである。また、DFFTの相互運用性を確保するためにも、各国の既存の規制アプローチや手段の共通点等につき理解を深める必要がある。さらに、個人データを保護しつつ、自由なデータ流通を実現する観点から、産学官連携による相互運用性を可能とする国際枠組みを構築することが求められる。

B7共同提言を実現すべく、G7とし



意見陳述を行う遠藤副会長

て、価値観等を共有する同志国に信頼の輪を拡充すべきである。こうした取り組みにより各国の規制やスキームを調和することが、国境を越えた価値創造につながる。B7としても、フレキシブルな議論と行動により、グローバルな課題解決に引き続き取り組んでいく決意である。

G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合  
ウェブサイト  
[https://g7.digital-tech-2023.go.jp/  
topics/index.html](https://g7.digital-tech-2023.go.jp/topics/index.html)



写真提供/デジタル庁、総務省、経済産業省